

# COASTeRに基づく犬の骨関節炎の国際的治療ガイドライン

医薬品及び生物学的製剤	コルチコステロイド (IA) <sup>4</sup>				困難な症例又は治療失敗 <sup>2</sup>	困難な症例又は治療失敗 <sup>2</sup>
	多血小板血漿 (IA) <sup>4</sup>				品質基準/認可施設 <sup>2</sup>	品質基準/認可施設 <sup>2</sup>
	ヒアルロン酸 (IA) <sup>4</sup>				低分子量 <sup>2</sup>	初回使用の場合は低分子量 過去に使用した場合は低分子量及び高分子量
	PPS/PSGAG (IM)				追加的治療	追加的治療
	トラマドール (PO)				鎮痛補助薬(代替療法ではない) <sup>3</sup>	鎮痛補助薬(代替療法ではない) <sup>3</sup>
	アマンタジン、アセトアミノフェン、ガバペンチン(PO)				鎮痛補助薬(代替療法ではない) 次を追加する前に臨床上の有益性を示してください <sup>3</sup>	
	幹細胞 (IA) <sup>4</sup>				品質基準/認可施設 <sup>2</sup>	品質基準/認可施設 <sup>2</sup>
	抗NGF mAb (SC)				品質基準/認可施設 <sup>2</sup>	品質基準/認可施設 <sup>2</sup>
MoA(作用機序)及び特性に基づき製品を選択。長期間併用する場合の安全性については不明。				必要な運動機能の改善を達成・維持させてください		
NSAIDs ピプラント又はCOX阻害剤 (PO)				第一選択薬 必要に応じて投与 推奨:推奨薬用量で4週間以上	第一選択薬 必要に応じて投与 推奨:推奨薬用量で8週間以上	第一選択薬 必要に応じて投与 推奨:推奨薬用量で12週間以上



非薬物	犬の評価 (治療関係者チーム)	目標 1回/年	目標 2回/年 + リスクがある子犬のX線撮影	目標 2~4回/年 + 血液/尿検査	目標 4~6回/年 + 血液/尿検査	頻回: 自宅/遠隔医療が有用 + 血液/尿検査
	基本的要素	骨関節炎、COAST及びライフステージにおける課題を説明 体重/体調、栄養摂取及び運動の最適化に注目				
	飼い主の教育	OAの認識 リスク因子の回避	リスク因子の緩和	ゴールの設定 ケアプランに同意	より高度なOA医療 プランの有用性	迅速な対応 + 終末期の準備
	体重/BCS	最適な状態の維持	関節への適正な荷重がその構造維持に必要であることを認識した上で、必要に応じて減量を計画			
	栄養摂取	栄養上バランスがとれており、犬種、ライフステージ及びライフスタイルにおいて適切				
	運動	最適な状態の維持	リスク因子がある場合は対処	OAの要件に適合 <sup>3</sup> (食事療法/栄養補助食品を参照)		
	理学療法/リハビリテーション	認識 外傷のリスクを最小化	調整 関節に外傷がある場合は完全なプログラム	個々の犬に特化して(できれば有資格の専門家が)作成した OAケアプラン(監視及び自宅) <sup>3</sup>		
	環境改善			問題の場所が特定された場合	快適さ 生活環境の改善	必須 (毎日の生活及び快適さ)
	手術(医学的管理)		「予防的」 <sup>2</sup> (具体的な基準)	「治療的」 <sup>2</sup> 原因又は難治性疼痛の治療	「治療的」 <sup>2</sup> 原因又は難治性疼痛の治療	
	食事療法/栄養補助食品	関節用療法食		認識/情報に基づく選択	必須脂肪酸及びその他の有益性が見込めるものを与える	
オメガ3 EFA			認識/情報に基づく選択	療法食より好む場合、バランスの良い食事を与える		
コンドロイチン硫酸、グルコサミン、ASU、緑イ貝			飼い主の要請で継続	認識/情報に基づく選択		
非変性II型コラーゲン			飼い主の要請で継続	認識/情報に基づく選択		
カンナビジオールサプリメント				認識/情報に基づく選択	神経性疼痛および医薬品を増量	

**COASTの補足説明:**  
 1.有効性と安全性の定期的なモニタリング及び各症例に適した調整を必要に応じて行う。2.専門獣医師への紹介を検討又は推奨する。3.ステージ4:鎮痛補助薬をより早めに投与→症状の緩和を高める事を優先し、その後体重、栄養摂取、運動、緩和ケア及び歩行補助器具の認知を図る。4.関節内注射:全員が推奨する治療後、又は医薬品での治療が限られている場合に、機能的改善を高めるために使用する。1~2カ所の関節が罹患している場合に最も適用する。

RTD=Recommended Therapeutic Dose (推奨薬用量), SC=皮下注射, IM:筋肉内注射, IA=intra-articular (関節内注射)  
 Cachon T et al. Front. Vet. Sci. 2023,(Vol. 10):1-23

**Unanimous recommendation**  
(全員が推奨)

**Majority recommendation**  
(過半数以上が推奨)

**Minority recommendation**  
(一部が推奨)